

特集 医療機器産業～医工連携で広がる市場～

人材こそ競争力の源

微細加工技術に特化

「会社を良くするのも悪くするのも人」と話しているのは、二九精密機械工業の二九良三社長。同社は、如雷器や分析機器など、医療機器を主とし、半導体や環境機器などを製作。難削材の微細切削加工や、レーザー加工技術を活かした心臓血管移植やカテーテル、分析機器などに使われるNITIニッケル・チタンパイプを駆使した

「会社を良くするのも悪くするのも人」と話しているのは、二九精密機械工業の二九良三社長。同社は、如雷器や分析機器など、医療機器を主とし、半導体や環境機器などを製作。難削材の微細切削加工や、レーザー加工技術を活かした心臓血管移植やカテーテル、分析機器などに使われるNITIニッケル・チタンパイプを駆使した

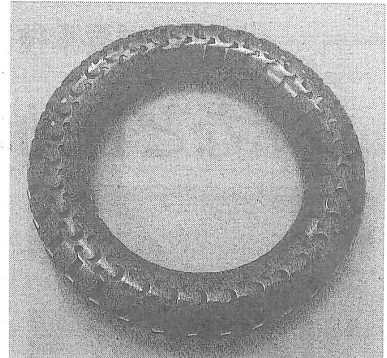
「5年後を見据えて、設計・開発など技術者が不足している。医療機器全体のポリュームは伸びており、微細加工技術のニーズも高まっている」と、二九社長は、現在、同社に成長し良いモノを作り出すために、100億円を目標

「5年後を見据えて、設計・開発など技術者が不足している。医療機器全体のポリュームは伸びており、微細加工技術のニーズも高まっている」と、二九社長は、現在、同社に成長し良いモノを作り出すために、100億円を目標

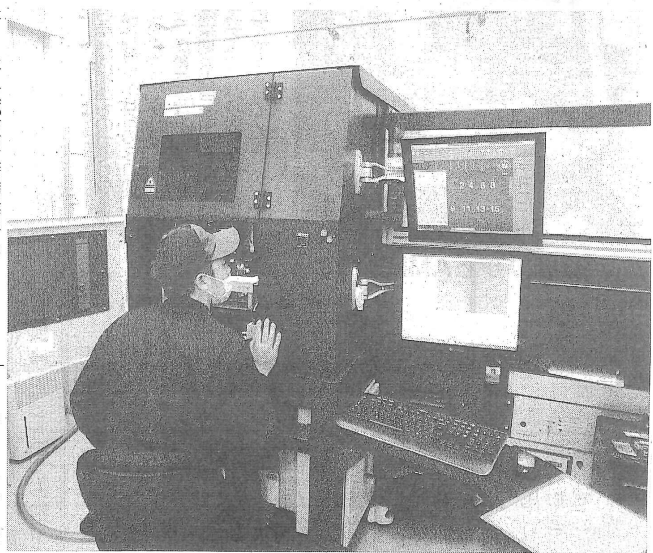
現場を訪ねて

二九精密機械工業

(京都市)



本 社：京都市南区唐橋梓田町33-3
電 話：075・601・2031
代 表 者：二九良三社長
創 業：1977年
従 業 員：230人
事業内容：精密機械部切削加工、小径ニッケル・チタン合金パイプなど、これらの開発設計から製造。



00のクリンルームを備えた。京都市場・R&Dセンターはパイプ材の研削・研磨を行う造管工程のFEMト秒レーザーやファイバレーザー加工機を用いて、前述のNITIパイプなどを製作。こうした微細で特殊な加工技術の開発は「一人」による力が大きい。そのため、二九社長は「一人は人がすべき仕事に専念すべき」と話す。人材を競争力の源と捉え、リクルート活動を積極的に展開。大学や行政との関係性を密にし、専門性の高い技術者を多数採用。人の「良い部分だけを見える」をモットーに、多種多様な人材のモチベーション向上に努める。

「5年後を見据えて、設計・開発など技術者が不足している。医療機器全体のポリュームは伸びており、微細加工技術のニーズも高まっている」と、二九社長は、現在、同社に成長し良いモノを作り出すために、100億円を目標

「5年後を見据えて、設計・開発など技術者が不足している。医療機器全体のポリュームは伸びており、微細加工技術のニーズも高まっている」と、二九社長は、現在、同社に成長し良いモノを作り出すために、100億円を目標